

HS ニュースレター

新春号の内容

「2012年・辰年を飛躍する年に」飯窪

「あしなが育英会・東北レインボーハウスへの寄付」

会員より：「頑張ろう柏！」福士・「6回目の辰年を迎えて」和地

「定例会報告：10月定例会、12月定例会」、「近況報告」

2012年・辰年を飛躍する年に

新年あけましておめでとうございます。本年も会員の皆さまの研究会活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

昨年はなんといっても3月11日に起こった東日本大震災がとても大きかったと思います。マグニチュード9.0の大地震とそれにより引き起こされた津波、さらには福島第一原発の事故は、生涯記憶から消えることはないでしょう。個人的にも研究会としても被災地の支援を継続してゆきたいと思います。

世界に目を向けてみますと、タイで発生した大洪水は東日本大震災のときと同様にサプライチェーンが分断され、世界中で工業製品の供給が滞りました。たった一つの部品でも供給が途絶えると製品にならないことが白日の下に晒され、まさに現在の世界は本当にグローバルになったのだと感じた出来事でした。

金融面では依然としてユーロ圏の金融問題が燻り続けており、ユーロ安が止ま

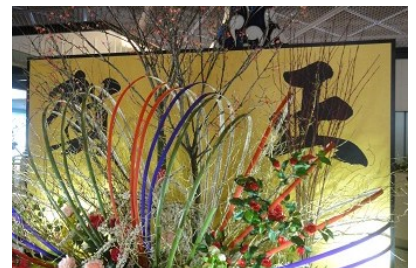
らない状況にあります。ユーロから円やドルに資金シフトが進行し、円高が続いています。そうでなくても日本経済は抜本的な改革が進まず、相変わらず政治空白が続いています。ビジョンを示さない、何も決まらない、決めたことをやらない……。これでは世界から取り残されてしまいます。

2012年は世界各国のリーダー選びが実施される年でもあります。米・露・仏・中・韓・台などで大統領選挙等が行われます。日本でも解散・総選挙が行われる可能性があります。既存の枠にとらわれず、国民や世界に目を向けた政治家集団が現われ、真の改革が起こることを期待したいと思います。

今年の干支は「辰」です。威勢のよい「登り龍」のごとく株式や不動産の取引が活発化し、景気が上向いてくれることを切に期待したいと思います。

ハートストック研究会も「登り龍」とともに飛躍する年にしたいと思います。

HS研究会幹事 飯窪光隆



より良い年を祈って

ハートストック研究会とは

「ハートストック研究会」は、モノのストックだけでなくハート(心)のストックを豊かにするにはどうしたらいいかを追求する人たちの集まりで、誰でも入会できます。東京や地方さらには世界各国の生活や仕事の問題を、土地や住宅といったモノのストックのあり方から、人の考え方や気持ちといったハートのストックのあり方まで議論して自らの心を豊かにすることを目的としています。

あしなが育英会・東北レインボーセンターへの寄付

HS研究会では、これまで東日本大震災への義援金として福島県と日本赤十字に寄付してきましたが、第3弾として2011年の10月31日付で、22万円を、「あしなが育英会(あしなが東北レインボーハウス建設資金口)」へ寄付しました。その後、11月11日付であしなが育英会からお礼の手紙と領収書が送付されてきました。その概要は以下のとおりです。

「東日本大震災で両親を亡くされ、また重度の後遺症で家計の支えを失った子供たちに学

業支援と心のケアのために取り組みます。また今回の寄付金はこのような小中学生の心のケアを主目的としてレインボーハウスの建設資金に使用させていただきます。」

なお、東北レインボーハウスは、仙台市内に本部を竣工し、岩手県山田町または大槌町、同県陸前高田市、宮城県石巻市、福島県内の4カ所にサテライトを建設、総額11億円、工事期間は12年1月～13年2月の予定とのことです。ぜひ今後とも見守っていききたいと思います。

ハートストック研究会会員より

頑張ろう柏！ 福士正直

昨年来、レイソルのJ1優勝で沸いた柏では、高揚感は長くは続かず、すぐにまた静かな街に戻った。レイソルの優勝でも柏市民の心は晴れなかった。

レイソルと並んで昨年柏を全国区にしたもう一つの話は「ホットスポット」ということだった。中でも昨年10月柏市の根戸地区で毎時57.5マイクロシーベルトという途方もない数値の放射線量が計測されたというニュースは柏市民に大きな衝撃を与えた。特に小さな子供を持つ母親の不安は極限に達した。

これまで住みたい街の上位に位置し、常に増加を続けていた柏市の人口が、今年の7月以降毎月百人単位で減り続けている。これまでになかった現象である。セシウム137の半減期は30年とされる。すべて除染されるなどゆめ物語である。

これからの柏市民はセシウムと共存することが求められる。人災なれど誰も恨むまい。頑張ろう柏。

6回目の辰年を迎えて 和地陽二

昨年の東日本大震災は多くの人の考えや生き方に影響を与えました。しかし、政治屋だけは変わらなかったようです。

さて今年、小生は6回目の辰年を迎えました。年頭で強く意識したのは「脱原発、発送電分離」です。広島、長崎、福島と放射線の被害を体験させられ、その恐ろしさを知らされた日本人、原子力は人間がコントロールできないものと再認識し、直ちにすべての原発は止め、廃炉の研究のみに徹すべきです。

不足する電力については、発送電分離の政策を推進し、自然エネルギーを利用した発電の開発を強力に行い、とりわけ太陽光、水力や風力などによるミニ発電、家庭用蓄電池の研究に資金を集中し、新事業の創生を図らなければなりません。

追伸：沖縄へは1月15日頃に行く予定です。天候不順が気になります。

定例会報告：10月「大震災と不動産市場」、12月「仙台市への影響」

10月定例会(10月11日)

講師：上村要司(Geo Laboratory代表取締役)

テーマ：「東日本大震災と不動産市場への影響」

要旨：前半は「震災を機に考える不動産の安全性」について今回の大震災による首都圏の住宅の被災状況と、今後起こる可能性のある東京湾北部地震による被災想定が議論された。後半は「震災後の首都圏市場」について、6月以降は取引と価格の落ち込みが見られるが、それは比較的低い埼玉県東部地区などの取引が相対的に増えていることの反映という説明があった。また、今後の見通しについても議論された。

詳細：<http://hstock.blog90.fc2.com/blog-entry-82.html>

12月定例会(12月13日)

講師：井出米蔵(大和総合不動産鑑定所代表取締役)

テーマ：「東日本大震災の仙台市不動産市場への影響」

概要：まず第1部では、仙台市中心部の被災状況が説明され、古いマンションなどに被害が大きかったことが報告された。第2部では、被災後の仙台の市場で、復旧需要のために活況状態が続いていることが指摘された。第3部では、被災マンションの事例が検討され、全戸合意で解体が決まった稀なケースが取り上げられたが、そのような動きを促進する策の必要性についても議論された。

詳細：<http://hstock.blog90.fc2.com/blog-entry-84.html>

近況報告：

三船 暁：我が家には現在2人の受験生がいます。テレビ・ネットゲームにばかり興じて勉強しない子たちに業を煮やし、昨年6月に自宅のケーブルテレビとインターネットを思い切って解約し今日に至っています(ただし、私以外は携帯ワンセグを保有)。その結果、人気TVドラマを観られず、話題についていけなくなった、勉強量が少し増えた、家族の会話が増えた(ような気がする)、などの変化がありました。受験期が過ぎたら、テレビ等を復活する予定。今は、春よ来い、早く来いという気分です。

宮尾尊弘：このところ毎年秋学期に秋田の国際教養大学で教えていますが、昨年3年目の秋には秋田の良さを色々知る機会を得ました。特にHS会員の巻淵さんが久しぶりに元の職場(県庁)のある秋田を訪れた際には、市内の古くて小さいながら、お酒ときりたんぼが極上に美味しいお店に連れて行っていただき、人情を大切にすごすご友人や女将と話をしてお過ごした一晩は忘れられないものになりました。巻淵さんによれば、HSのメンバーと知り合った熊本県庁時代との比較から、秋田県と熊本県にはかなり共通点があり、もともと農業が盛んで比較的裕福な県だったが、その後、秋田は仙台に、また熊本は福岡に拠点機能を取られて苦戦していること、しかし最近では昔の元気を取り戻すべく努力していることなど。ぜひ両県とも応援したいものです。

HS新年会：1月24日(火)18:30より。

綱町三井倶楽部・別館(港区三田2-3-7：電話03-3453-3011)にて。

「針谷さんのご紹介で綱町三井倶楽部にいたしました。ジョサイア・コンドル博士の設計による西洋建築の傑作です。建物も是非ご堪能ください」(飯窪)

HS ニュースレター

年4回発行
ハートストック研究会
発行人・宮尾尊弘

住宅や土地といったモノのストックだけでなく、人の考え方や気持ちといったハート(心)のストックを豊かにするための研究会のブログ：
<http://hstock.blog90.fc2.com/>

ハートストック研究会
2012年度事務局
幹事：飯窪光隆
会計：田淵千代子
顧問：二木憲一